デモソフトによるアンテナ切り替えの設定 (ミドルレンジタイプ) ^{新規作成 2005年11月14日} 修 正 2006年7月28日

<u>Ver 1.01</u>

タカヤ株式会社 RF事業推進部

<デモソフトによる設定について>

[1] デモアプリケーション TR3Demo2.exe を用い、
 メニューの 『設定』-->『アンテナ切替の設定』-->『切替基板使用』で設定
 ダイアログを表示し設定を行います。
 尚、ソフトのバージョンは、V1.33 以降をお使いください。
 (『ヘルプ』 にてご確認いただけます)

♦ TR3 €_\$-70054		
ファイル(F) デバッグ(W) デバッグ(ISO15693)① デバッグ(my-d)(M)	設定(Z) ヘルプ(H)	
	動作モードの設定(P)	
	リトライ回数の設定(Q)	
	アンテナ切替の設定(R) り	TR3-L002C
No. ナータ数 文信ナータ	アンテナの選択(S)	切替基板使用(Z)
	1/0ポートの設定の	
	タグの選択(T)	
	EAS(タグへの書込)(E)	•
	EASモードの設定(A)	
	アンチコリジョン設定(U)	
	インベントリ時のトリガ入力(V) ・	•
	通信パラマークの約	
	通信スピードの設定(X))	
	ポートチェック(?)	
	環境設定(Z)。	
		┛──────
		_
, J		11.

■ 8 c h 切り替えタイプ \Rightarrow [2]へ ■カスケード接続タイプ \Rightarrow [3]へ

- [2] 8 c h 切り替えタイプについて
 - (1)アンテナ切り替えの設定

メモリスイッチのタブが表示され、まずは各々必要な設定を行います。

- **R/W** による『自動切り替え機能』をご使用される場合は、『有効』をクリックして ください。
- 『アンテナの選択』の設定には『接続するアンテナ数-1』を入力してください。
- 『ポートの選択』は『拡張ポート』に設定してください。
- 『カスケード接続』は『しない』を選択してください。
- アンテナ I Dの出力は必要に応じて設定してください。
 有効設定により、受信データ画面内、入/出欄に読取アンテナ ID が表示されます。
 入/出欄の表示設定については、[4]アンテナ ID について、をご参照ください。

外部アンテナの自動切り替え機能	○ 無効	⊙ 有効
アンテナの選択:	[0 🔹
自動切替のポートの選択(L201,L301)	○ 通常ポー	ト ⓒ 拡張ボート
カスケード接続	C Utal I	C する
アンテナのIDを出力する(識別機能有効)	◎ 無効	• 有効

(2) I/Oポートのモードの設定

以下のダイアログ中で、I/Oポートの設定を行います。

- I / Oポートはポート4~6を使用します。
- ・入出力ポートの設定は『出力ポート』に設定してください。
- ・デフォルト値は『0』に設定してください。

		入/出力ポート	デフォルト値
1/0ポート1	● LED ● ポート	◎ 入力 ○ 出力	C 0 @ 1
/0ポート2	● トリガー● ポート	⊙入力 ○出力	C 0 0 1
/0ポート3	● RS485 ● ポート	⊙入力 ○出力	C 0 © 1
/0ポート4		○ 入力 ⊙ 出力	• D • 1
1/0ポート5		○ 入力 ⊙ 出力	
/O#-ŀ6		○ 入力 ⊙ 出力	© 0 0 1
∕Oポート7	◎ ブザー ○ ポート	○入力○出力	0 0 1
:∕Oポート8		● 入力 ● 出力	C 0 @ 1

(3) 設定後、書き込みボタンを押す事で、R/W 内部の EEPROM に設定値が書き込まれます。
 尚、設定を有効とするには、R/W に対して電源の再投入(電源の OFF-->ON)が必

同、設定を有効とするには、R/W に対して電源の再投入(電源の OFF-->ON)か必要ですのでご注意ください。

[3]カスケード接続タイプについて

(1)カスケードの設定1

メモリスイッチのタブが表示され、まずは各々必要な設定を行います。

- **R/W** による『自動切り替え機能』をご使用される場合は、『有効』をクリックして ください。
- 『アンテナの選択』の設定は必要ありません。
- 『ポートの選択』は『拡張ポート』に設定してください。
- アンテナ I Dの出力は必要に応じて設定してください。
 有効設定により、受信データ画面内、入/出欄に読取アンテナ ID が表示されます。
 入/出欄の表示設定については、[4]アンテナ ID について、をご参照ください。



『カスケード接続する』 をチェックします。

カスケード接続の設定ボタンが表示されますので、そのボタンをクリックしてください。

(2)カスケードの設定2

以下のダイアログで、接続するアンテナ数を設定します。設定後は、OKボタンを押して、R/W内部のEEPROMに設定内容を書き込みます。

尚、接続するアンテナがない場合は、0を設定します。

また、アンテナ出力は、1から順番に使用し、途中に空きがないように設定してくだ さい。

例えば、以下の設定は、アンテナ出力1~3に、5個づつのアンテナを接続する場合 の設定となります。

R/WのEEPROM2の設定 切り替え基板力スケード接続	×
1段目	2段目
アンテナ出力	使用するアンテナ数(0-8[0:未使用時])
アンテナ1出力	5 🚖
アンテナ2出力	5 🛫
アンテナ3出力	5 🚖
アンテナ4出力	0 🚖
アンテナ5出力	0 🚖
アンテナ6出力	0 😫
アンテナ7出力	
アンテナ8出力	
-	
ОК	キャンセル

(3) I/Oポートのモードの設定

以下のダイアログ中で、I/Oポートの設定を行います。

- I/Oポートはポート4~6、8を使用します。
- ・入出力ポートの設定は『出力ポート』に設定してください。
- ・デフォルト値は『0』に設定してください。

		入/出力ポート	デフォルト値
I∕Oポート1	● LED ● ポート	● 入力 ● 出力	C 0 @ 1
I∕Oポ−ŀ2	● トリガー● ポート	◎ 入力 ○ 出力	C 0 0 1
I∕Oポー⊦3	● RS485 ● ポート	● 入力 ○ 出力	C 0 • 1
I/Oポート4		○ 入力 ⊙ 出力	• 0 • 1
I∕Oポート5		○ 入力 ⊙ 出力	© 0 0 1
I/Oポート6		○ 入力 ⊙ 出力	© 0 C 1
I∕Oポート7	◎ ブザー ○ ポート	◎ 入力 ◎ 出力	C 0 © 1
I∕Oポ−⊦8		○ 入力 ⓒ 出力	• D • 1
I∕Oポート7 I∕Oポート8	● ブザー C ポート	 入力 C 出力 C 入力 C 出力 	© 0 © 1

(4) 設定後、書き込みボタンを押す事で、R/W 内部の EEPROM に設定値が書き込まれます。
 尚、設定を有効とするには、R/W に対して電源の再投入(電源の OFF-->ON)が必

向、設定を有効とするには、R/W に対して電源の再投入(電源の OFF-->ON)か必要ですのでご注意ください。

[4] アンテナ ID について

アンテナ自動切換え有効時、R/W からのレスポンスにアンテナ ID(番号)が付加されます。 この ID を受信データ画面内「入/出欄」に表示させるためには、以下の設定が必要になります。 メニューの『設定』-->『環境設定』-->『デバッグ』において、

『入出フォーマットを使用する』をチェック-->『チャンネルモード』をクリックする。 『OK』により、設定完了になります。

環境設定
動作環境 デバッグ
 ✓ fDispRecInfo ✓ fDispTxInfo 「fWrDebug1 ✓ 表示データの色を変える ✓ インベントリ2時、UIDデータも受信する ✓ 入出モード ● アーマットを使用する ● 入ノ出モード ● デャンネルモード ■ TBlockWrite時バイナリデータの書き込みを行う アブリケーション(側の設定 R/WのID ■ マーマックサイズ ✓ 4 ● ■ RS485IF Board を使用する
OK キャンセル

[5] 改訂履歴

Ver. No	日付	内 容
1.00	2005年11月14日	新規発行
1.01	2006年7月28日	説明追加、改訂履歴追加

タカヤ株式会社 RF事業推進部 [URL]<u>http://www.takaya.co.jp/</u> [E-mail]rfid@takaya.co.jp

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。